

東播支部だより

第81号
発行所
公益社団法人
兵庫県隊友会
東播支部
0790-49-3027
発行責任者
桑原 博



青野ヶ原演習場慰霊碑 清掃奉仕及び慰霊行事

隊友会東播支部は、7月30日酷暑の中、石田支部長以下28名の会員の参加を得て、青野ヶ原演習場の南廠舎近傍にある殉職隊員（姫路駐屯地隊員）の慰霊碑周りの清掃（除草）、演習場内の偽装材捨て場近傍にある殉職隊員（福知山駐屯地隊員）の清掃（除草）及び清掃後に献花を行い参加会員が順番に慰霊を行いました。



慰霊碑清掃風景

ここ数日は、雨も降らず酷暑と言える35度以上の晴天が続き、熱中症対策が不可欠の状態であることから、朝6時30分からの清掃としておりましたが、会員の皆様は涼しいうちにとの気持ちで、5時過ぎには作業を開始し、2か所ある慰霊碑の清掃及び献花・会員の慰霊を7時過ぎには終了することができました。特に、南廠舎近傍の慰霊においては、会員でお寺の住職をされている高倉理事役がお経を読み続ける中で慰霊を行うことができました。

終了後、今年の支部長表彰受賞対象者の入船理事役に石田支部長から表彰状の贈呈を行った。最後に、7月31日付でご勇退される業務隊長 竹内2佐から「隊友会の皆様の献身的な活動により、毎年、慰霊碑周りの清掃・慰霊行事を行って頂けることに心から感謝します。」とご挨拶を頂き解散しました。



高倉理事 読経による慰霊



入船 吉正 理事役 表彰状贈呈

参加会員は次の清掃場所である海軍航空隊鶉野飛行場跡地向けて移動を開始しました。

鶉野飛行場跡地の整備については、移設前に祈念碑を建立されていた場所が「祈念の碑保存会」の土地となっており、毎年その跡地周辺の清掃（除草）を行っています。「祈念の碑保存会」の会員、ライオンズクラブの会員の方々、総勢10名程度で朝早くから除草作業を進めてくれていました。特に藤棚の除草は、参加者の高齢化の影響もあり、整備が進んでいない状況でありましたが、我々隊友会の会員が支援して約1時間で作業を終了することができました。

作業終了後に、現保存会の会長 上谷昭夫氏の弟である上谷哲朗氏から、会長が昨年末に脳梗塞となり2カ月くらいの入院をされたこと、長期入院で歩けない状態になられたことをお聞きし、参加した隊友会員は愕然としました。昨年、鶉野飛行場跡地見学を計画した際に会長自らが見学コースを計画し、大満足の研修をさせて頂くことができたことを思い出し、早い回復を祈るばかりです。

上谷哲朗氏からは、今後も清掃活動は祈念の碑保存会の会員、



挨拶をされる石谷氏。

ライオンズクラブの会員が行って
いくことになるが、高齢化が進ん
でいるため、十分な清掃ができな
い状態であるため、引き続きの隊
友会東播支部の継続的なご支援を
お願いしたい。また、10月7日
(土)には祈年祭を行うとのこと
もあり、参加して頂きたいとの要
望もお聞きしました。
東播支部としては、今までに先
人が行つてこられた事業の一つで
あり、元自衛官として戦争遺跡に
携わることは名誉なことという気
持ちも強く、要望がある間は積極
的な支援をお約束し、移設後の祈
念碑に移動して献花・慰霊行事を
行つて解散しました。



海軍航空隊鷓野飛行場慰霊碑前での集合写真



「藤棚」と格闘する会員

この祈念祭は鷓野平和祈念祭
実行員会の主催で毎年遺族の参
加を募つて厳かに開催され、今
年で25回目を数えます。今年



「鷓野平和祈念祭」参加者

隊友会東播支部 石田支部長
は令和5年10月7日13時から兵
庫県加西市鷓野町にある姫路海
軍航空隊鷓野飛行場において開
催された令和5年度(第25回)
鷓野平和祈念祭に参加した。

令和5年度
鷓野平和祈念祭



挨拶される 上谷様



献花される石田支部長

海軍旗掲揚、主催者を代表して
鷓野平和祈念の碑苑保存会の事
務局長である上谷様の挨拶で始
まり、黙祷、献花、小野高校の
生徒による遺書朗読、海ゆかば
の斉唱、追悼演奏(同期の桜・
若鷺の歌・ふるさと)、遺族代
表謝辞(第一護皇白鷺隊湯川
俊輔 海軍少尉の姪)、海軍旗
降納で行事を終了しました。

この海軍飛行場跡地は、陸上自衛隊鶉野訓練場として近年まで自衛隊が管理していました。加西市に払い下げられて以降は、防災拠点としての役割、戦争遺跡公園としての役割を担っています。

特に、見学に訪れる方々には、この遺跡を通じて63名の若者が返らぬ人となった悲惨な戦争を2度と起こさない。起こしてはならないとの強い信念をもって説明されています。

毎年、近畿地方の中・高校生が学校教育の一環として見学研修に訪れていると聞きし、その数が年々増えていると聞いています。

令和5年度 隊友会 東播支部さつま芋収穫祭

隊友会東播支部 支部長 石田真一以下24名の会員及び1名の会員家族は令和5年10月21日9時から兵庫県加東市滝野の滝野体育センター前の休耕田においてサツマイモの収穫祭を行った。

支部は、毎年近傍駐屯地である陸上自衛隊青野原駐屯地の曹友会長を介して、隊員・家族に参加を

呼び掛けて、隊友会会員と隊員・家族のふれあい場の一環として収穫祭を計画しています。

今年も、19家族61名の参加があり好天に恵まれ絶好の収穫日和の中で和気あいあいと収穫を楽しんでいたことができました。

今年の収穫場所は昨年までとは少し場所を変えており、草ぼうぼうの荒地地であったところの開墾から植付までの準備や草取り等大変な苦勞がありました。

いざ収穫してみると、かなり大きい芋に成長しており、サツマイモを手にした子供達は大喜びでした。

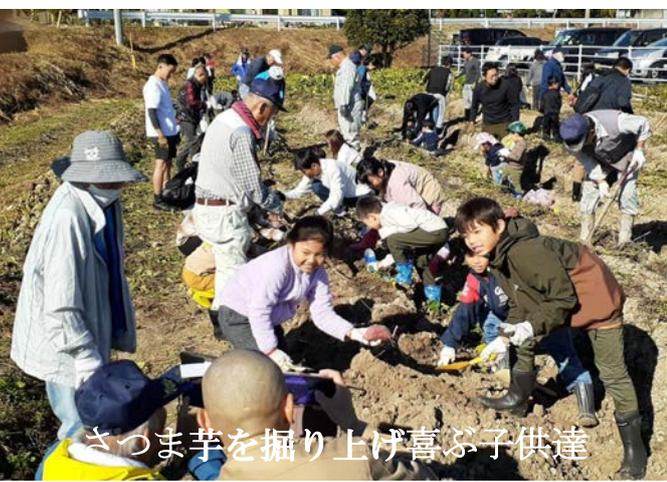


支部長挨拶

さつま芋掘りに没頭する参加者の面々



さつま芋を掘り上げ喜ぶ子供達



450本の収穫を約1時間30分程度で行い、人数分に振り分けて持ち帰りの準備にも時間が掛かるほど大量に収穫することが出来ました。また、昨年同様、里芋の収穫も行い、皆さんに持ち帰って頂くことが出来ました。

今年も同様、来年も同様に収穫祭を計画すること、最近の自衛官は訓練状況が過密になっていることから、臆することなく家族のみでの参加も検討して頂き、隊友会会員との交流を深めて頂きたいと要望し、全員の記念撮影を行った後解散となりました。

この、収穫祭の成功の裏には石田支部長を含めたさつま芋畑近傍の役員と会員のご尽力の上に成り立っていることに対し、心から感謝します。

我が東播支部の役員及び会員は、いかに現職隊員の心の支えとなる活動ができるのか、今後父兄会との連携の基、家族支援の在り方を含めて志を一つにして更に連携を深めていきたいと考えています。



さつまいもの収穫後の集合写真



大量に収穫されたさつまいも



見事に復活したさつまいも



絶滅寸前のさつまいも

【さつまいもの危機】

今年も、去年に比べて大量の収穫量でしたが、夏の暑さで「さつまいも」の絶滅の危機がありました。しかしながら、石田支部長を始め滝野在住の役員と会員のご尽力により見事復活し「大豊作」となりました。

支部の活動実績

- 7月30日 慰霊碑清掃奉仕及び慰霊行事
(支部長以下28名参加)
- 8月8日 青野原駐屯地盆踊り大会
(支部長・副支部長・事務局長参加)
- 9月9日 新隊員後期教育修了式
(支部長参加)
- 10月7日 鶴野祈念の碑 慰霊祭
(支部長参加)
- 10月21日 収穫祭(サツマイモ収穫)
(石田支部長以下会員24名・会員家族1名・隊員家族19家族61名 計86名参加)

支部の主要事業予定

- 11月5日午後予定 歴史ウォーク
- 11月18日 忘年会(東加古川 弁慶)
- 11月25日 理事役員
- 12月3日 小野ハーフマラソン支援
- 12月8日〜12日 #1予備自衛官招集訓練激励
- 12月10日 県理事役員
- 12月下旬 青野原駐屯地年末行事
- 1月初旬 青野原駐屯地成人行事
- 1月中旬 駐屯地新春互礼会
(駐屯地外で実施予定)

- 1月19日(23日) #2予備自衛官招集訓練激励
- 1月27日 理事役員
- 2月13日 県隊友会支部長等会議・県理事役員及び懇親会
- 3月末又は4月初旬 理事役員

【新入会員紹介】

- 永野 義彦 (小野市) 青野原駐業 令和5年7月27日退官
- 藤坂 佳憲 (小野市) 青野原駐業 令和5年8月22日退官
- 藤原 弘之 (西脇市) 青野原駐業 令和5年8月23日退官



編集後記

月日の流れは早く、今年も残すところ2ヶ月となりました。会員の皆様におかれましては、益々ご健勝のことと存じます。お陰様で、「東播支部だより」も、多くの投稿記事をいただき順調に発行することができております。これもひとえに皆様方のご協力の賜物と感謝いたしております。今後も、皆様からの引き続きご協力、並びに多種多様な投稿をお待ちしております。何卒よろしくお願いたします。